



## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月12日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798 (43) 1065  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	86,253	5.6	2,471	△16.9	2,525	△15.0	1,482	△18.4
2019年2月期第1四半期	81,693	8.5	2,974	7.9	2,972	3.9	1,817	△16.0

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 33百万円(△98.7%) 2019年2月期第1四半期 2,616百万円(△16.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	46.81	—
2019年2月期第1四半期	57.39	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	173,056	85,099	45.7
2019年2月期	165,062	86,028	48.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 79,018百万円 2019年2月期 79,977百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	175,000	4.6	5,700	△5.5	5,900	△5.9	3,800	△5.9	120.00
通期	360,000	6.3	11,500	4.8	12,000	5.8	7,800	8.6	246.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期1Q	32,267,721株	2019年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	601,835株	2019年2月期	601,435株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期1Q	31,666,152株	2019年2月期1Q	31,663,945株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における日本経済は、貿易摩擦の激化による輸出量の減少や人件費が高騰したことなどにより、やや低調に推移しました。また、本年10月から消費税率が引き上げられることによる消費減退が懸念されるなど、景気に対する不透明感が強まっております。当食肉業界においても、原料調達難や人手不足などの不安定要素に悩まされ厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、グループ内での協力関係の強化や新規事業の取り組みにより、グループの収益基盤の強化に努めてまいりました。

食肉等の製造・卸売事業においては、家畜の生産や一次加工を担う事業の強化と経営安定に努めました。当事業は、エスフーズグループの競争力の源泉であると同時に、食料資源の確保に関わる国家的な取り組みであると考えられておりますので、長期的、戦略的に取り組んでまいります。また、製造事業においては、グループ企業間の協力関係の強化を進めるとともに、当社の代表ブランドである「こてっちゃん」の販促キャンペーンを継続的に取り組んでまいりました。さらに、製造・卸・流通機能を統合した主に首都圏向け新拠点の構築・整備を千葉県船橋市にて進めており、本年度中に完成予定であります。

食肉等の小売事業においては、新業態の店舗にも挑戦した他、継続的にイベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を実施し、また従業員の知識、技術向上による商品及び接客レベル改善を目指し、肉のマイスター制度をさらに浸透させてまいりました。

食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業および焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業でメニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高862億5千3百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益24億7千1百万円（前年同四半期比16.9%減）、経常利益25億2千5百万円（前年同四半期比15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億8千2百万円（前年同四半期比18.4%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は787億7千5百万円（前年同四半期比6.3%増）、セグメント利益は24億2千9百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

#### ②食肉等の小売事業

売上高は52億2千万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は2億8千8百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

#### ③食肉等の外食事業

売上高は19億2千9百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は8千4百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

#### ④その他

売上高は3億2千7百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント利益は3千6百万円（前年同四半期比57.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて79億9千4百万円増加し、1,730億5千6百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加、たな卸資産の増加及び設備投資に伴う有形固定資産の増加の一方で、現金及び預金の減少及び保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて89億2千3百万円増加し、879億5千7百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務及び借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて9億2千9百万円減少し、850億9千9百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加の一方で、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年4月12日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,410	38,569
受取手形及び売掛金	33,157	36,957
商品及び製品	17,974	20,768
仕掛品	920	893
原材料及び貯蔵品	3,141	2,898
その他	2,985	2,855
貸倒引当金	△157	△161
流動資産合計	98,432	102,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,336	39,073
減価償却累計額	△22,889	△23,422
建物及び構築物（純額）	14,447	15,650
土地	17,069	17,288
その他	35,367	40,216
減価償却累計額	△20,987	△21,828
その他（純額）	14,379	18,388
減損損失累計額	△1,580	△1,490
有形固定資産合計	44,315	49,836
無形固定資産		
のれん	237	220
その他	463	584
無形固定資産合計	701	804
投資その他の資産		
投資有価証券	18,321	16,343
退職給付に係る資産	122	121
その他	3,473	3,458
貸倒引当金	△304	△289
投資その他の資産合計	21,612	19,633
固定資産合計	66,630	70,274
資産合計	165,062	173,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,760	31,498
短期借入金	8,290	8,140
未払法人税等	1,823	1,021
賞与引当金	974	1,311
その他	10,448	11,184
流動負債合計	49,298	53,156
固定負債		
社債	1,250	1,200
長期借入金	22,475	28,298
役員退職慰労引当金	208	214
退職給付に係る負債	1,952	1,934
その他	3,848	3,154
固定負債合計	29,735	34,801
負債合計	79,033	87,957
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,691	18,691
利益剰余金	50,126	50,722
自己株式	△421	△421
株主資本合計	72,695	73,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,921	5,331
繰延ヘッジ損益	△13	△6
為替換算調整勘定	365	394
退職給付に係る調整累計額	8	7
その他の包括利益累計額合計	7,282	5,727
非支配株主持分	6,050	6,080
純資産合計	86,028	85,099
負債純資産合計	165,062	173,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	81,693	86,253
売上原価	69,859	74,503
売上総利益	11,833	11,749
販売費及び一般管理費	8,858	9,278
営業利益	2,974	2,471
営業外収益		
受取利息	13	11
受取家賃	36	41
受取配当金	40	43
持分法による投資利益	3	2
その他	118	119
営業外収益合計	211	217
営業外費用		
支払利息	51	67
為替差損	105	64
賃貸原価	15	18
その他	41	13
営業外費用合計	213	162
経常利益	2,972	2,525
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	72	0
負ののれん発生益	—	30
受取保険金	—	5
受取補償金	—	31
特別利益合計	73	67
特別損失		
固定資産処分損	15	33
減損損失	5	—
店舗閉鎖損失	3	—
災害による損失	—	30
その他	0	0
特別損失合計	25	63
税金等調整前四半期純利益	3,020	2,530
法人税等	1,092	934
四半期純利益	1,927	1,595
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,817	1,482

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	1,927	1,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,006	△1,597
繰延ヘッジ損益	△4	7
為替換算調整勘定	△300	30
退職給付に係る調整額	△6	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△1
その他の包括利益合計	688	△1,562
四半期包括利益	2,616	33
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,492	△72
非支配株主に係る四半期包括利益	124	105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	74,107	5,367	1,886	81,361	331	81,693	—	81,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,101	26	94	2,223	54	2,278	△2,278	—
計	76,209	5,394	1,981	83,585	385	83,971	△2,278	81,693
セグメント利益	2,868	327	99	3,296	23	3,319	△344	2,974

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△344百万円には、セグメント間取引消去△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△322百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	78,775	5,220	1,929	85,925	327	86,253	—	86,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,084	40	98	2,223	49	2,272	△2,272	—
計	80,859	5,261	2,027	88,148	376	88,525	△2,272	86,253
セグメント利益	2,429	288	84	2,802	36	2,839	△368	2,471

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△368百万円には、セグメント間取引消去△35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△332百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な該当事項はありません。